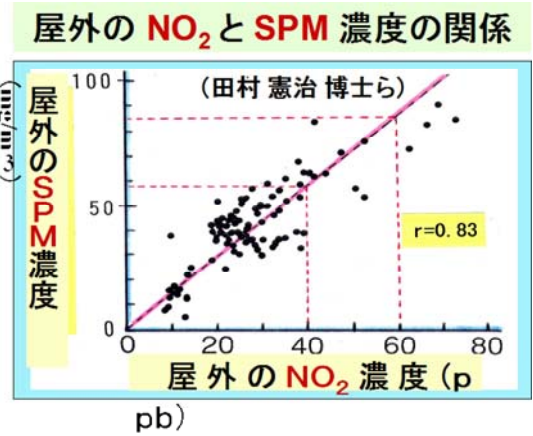
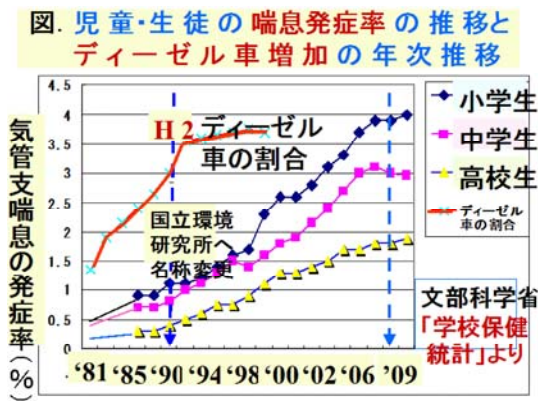
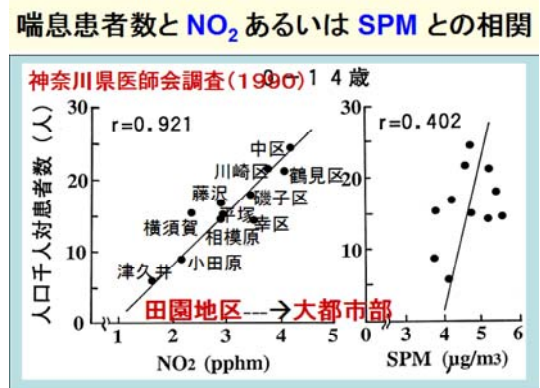
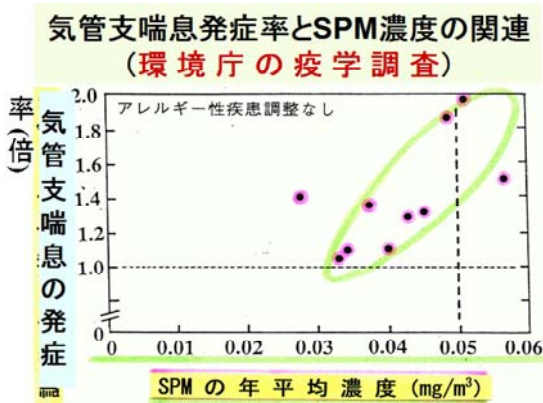


気管支喘息と大気汚染物質(嵯峨井勝先生資料を許諾を得て転載。)



上記スライドは、ディーゼル車増加と喘息発症率が相関している事を意味する。

このスライドから、NO₂濃度とSPM量も相関することがわかる。



SPM濃度と喘息は相関する。

喘息は、NO₂やSPMと相関する。

上記データから総合的に判断できることは、ディーゼルエンジン排気により、NO₂やSPMが増加し、二次的に気管支喘息発症が増えてきている。つまり、喘息発症の一端はディーゼル排気であると推定できる。